



Oi, 1960 より  
G. cucullatus 外雌器

手元にある Gongylidioides の標本4種について写真を撮ってみました。

添付写真 Gongylidioides 外雌器の比較.jpg 参照。

外雌器正面だけでは構造がわかりにくいので、斜め横から撮ってあります。

ズキンヌカグモの雌の場合、もっとも分かり易い識別点は受精囊の大きさです。

他の3種と比べて、明らかに受精囊が大きいです。

ズキンヌカグモの外雌器構造に注記を付したのも添付しました。

ズキンヌカグモの原記載では、外雌器中央部の外縁(稜線)の線がはっきり描かれていますが、飛騨高山の標本を見ると稜線部分がほとんど着色していない個体もあります。

千国図鑑での外雌器写真は原記載とかなり異なる印象を受けますが、

稜線部分が無色の個体を正面から撮影した為に写っていないだけだろうと思います。(安藤昭久)

年 8 月 12 日記